

中部横断道猛禽類保全検討委員会
(令和3年度)
議事概要

1. 日時：令和3年12月16日(火) 14:00～16:00

2. 場所：山梨県立文学館 研修室

3. 出席者

【委員長】阿部 學 NPO法人日本猛禽類研究機構 理事長

【委員】柳澤紀夫 (公財)山階鳥類研究所 評議員

青木 進 山梨県猛禽類研究会 会長

【オブザーバー】石原 徳幸 山梨県 森林環境部 みどり自然課長 (事前送付)

【事務局】国土交通省 甲府河川国道事務所

山梨県 県土整備部 高速道路推進課

4. 議事

- (1) 第24回中部横断道猛禽類保全検討委員会 議事録要旨
- (2) 令和3年繁殖期の繁殖状況及び猛禽類への工事影響の検討
- (3) 令和4年繁殖期調査・保全対策方針(案)
- (4) 開通後の影響評価
- (5) 全体スケジュール・今後の委員会予定

5. 結果

- ・令和3年繁殖期の繁殖状況を報告し、令和3年実施工事における猛禽類への工事影響は確認されていないことについて了承された。
- ・令和4年繁殖期調査・保全対策方針(案)を報告し、内容について了承された。
- ・開通後の影響評価の項目・手順・検討内容を報告し、内容について了承された。
- ・全体スケジュール・今後の委員会予定を報告し、内容について了承された。

(主な意見)

- ・工事内容に対して適切な施工時の配慮事項が行われていると考えられる。
- ・令和3年繁殖期の結果を踏まえて令和4年調査計画が策定されており、特に問題はないと考えられる。
- ・今後は、これまで長期間にわたって積み重ねてきた貴重なデータを用いて、開通後の影響評価を定量的に行っていくことが課題である。
- ・引き続き開通後の影響評価のための各種解析に取り組んでいくことが望ましい。